

平成31年4月1日～令和元年9月30日

# 備前信用金庫 半期ディスクロージャー

BIZEN SHINKIN BANK REPORT 2019.9.30

備前信用金庫と日生信用金庫は  
令和2年2月10日より備前日生信用金庫  
となります。



手を取りあって未来へ  
備前日生信用金庫

(注) 本合併は関係当局の認可を前提としております。



本店営業部



旧伊里支店



和気支店



旧佐伯支店



牛窓支店



旧邑久支店



虫明支店



片上支店



平島支店



山陽支店



長船支店



上道支店

(備前信用金庫 支店の歴史)



この町が好きです  
備前信用金庫

半期ディスクロージャー 2019

発行 令和元年11月 備前信用金庫

〒705-8603 岡山県備前市伊部1660-7

TEL.0869-64-4111(代) FAX.0869-63-2611

HPアドレス <http://www.shinkin.co.jp/bizen/>



本文には、弱視や老眼の方にも配慮して、可読性を高めるために開発された「モリサワUDフォント」を使用して印刷しています。



環境にやさしい「植物油インキ」を使用し、有害物質であるVOC(揮発性有機化合物)の発生をおさえています。



この町が好きです  
備前信用金庫

## ごあいさつ

晩秋の候、皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は備前信用金庫に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和元年度仮決算の概要がまとまりましたので、経営内容や業績についてご報告申し上げます。また、本誌では、「トピックス(上半期の出来事)」なども紹介しておりますので、ご高覧いただき当金庫に関するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

また、より一層地域の皆さまから信頼され、必要とされる金融機関となるため、来年2月10日をもって日生信用金庫と合併し、新たに「備前日生信用金庫」としてスタートする予定でございます。スケールメリットを生かしつつも、きめ細かな対応を通じた信用金庫としての使命を全力で果たす所存でございますので、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年11月  
備前信用金庫  
理事長 松本 洋一

写真：旧関谷学校 楷の木ライトアップ  
提供：備前市

## CONTENTS

ごあいさつ	P1
経営理念・当金庫の概要	P1～2
トピックス	P3～4
最近の出来事	P5
合併のご案内	P6
仮決算の概況	P7～10

## 経営理念

### 地域社会との共存共栄をめざして

信用金庫の原点に立ち、地元で信頼され愛される備前信用金庫として、地域産業の繁栄と豊かな市民生活の実現に奉仕する。

### 新しい時代の変化に应变えて

常に新しい時代、環境の変化に即応していくため、業務機能の充実、人材の育成を図り、総合力の発揮に努める。

## 当金庫の概要

名称	備前信用金庫
設立年月日	昭和45年10月1日
代表者	松本 洋一
出資金	267百万円
会員数	8,591名
預金積金	1,288億円
貸出金	565億円
常勤役員数	133名
店舗数	12店舗
本店所在地	岡山県備前市伊部1660番地の7
電話番号(代)	0869-64-4111

(令和元年9月30日現在)

# TOPICS トピックス



## ● 新入職員入庫式(4月1日)

4月1日(月)、新入職員入庫式を行い、8名の新入職員が入庫しました。

当金庫は人材育成に関する取組みとして、社会人としての基本マナーを学ぶ「ビジネスマナー研修」や営業店事務の基礎を学ぶ「オンライン研修」等、各種外部研修への派遣を実施しております。また、仕事の上での不安や悩み事などを常勤役員と共有化する「新入職員研修会」等の内部研修を実施するとともに、通信教育の受講制度や営業店配属店舗での若手職員によるOJTを実施しております。



## ● みのり旅行の実施(6月6日～7日、6月13日～14日)

6月6日(木)・6月13日(木)に、当金庫でみのり積金をご契約いただいているお客さまを対象とした、みのり旅行「つくの温泉海岸と下関の旅 一泊二日」を開催し、地域の多くの皆さまにご参加いただきました。旅行では、初代内閣総理大臣・伊藤博文が愛した老舗ふぐ料理店の「ふぐ会席」や防府名物「天神鱧三二会席」を味わっていただき、下関観光や日本海に沈む夕日を眺めながら絶景露天風呂をお楽しみいただきました。

## ● 「信用金庫の日」地域の清掃活動(6月14日)

信用金庫法が昭和26年6月15日に公布・施行されたことから、信用金庫業界では毎年6月15日を「信用金庫の日」と定めています。

「信用金庫の日」にはご愛顧いただいている地域・お客さまへの感謝の気持ちを込めて、全職員が清掃活動を行っています。

(注) 今年の清掃活動は6月14日(金)に行いました。



## ● 第59回 岡山県信用金庫野球大会(6月22日)



## ● 第49期 通常総代会(6月17日)

6月17日(月)、第49期 通常総代会を開催しました。総代会制度は、会員の皆さまの代表として選出された総代の方々が、総代会を通じて、当金庫の経営に参加することで、お客さまお一人おひとりの意見を適正に反映するための制度です。

今回の通常総代会では、平成31年3月1日(金)に発表した、日生信用金庫との合併について総代の皆さまからご承認をいただきました。



## ● CIS研修(8月31日他)

8月31日(土)、一般社団法人日本CIS認定協会 大山 裕子理事長を講師としてお招きし、CIS(顧客感動満足)研修を実施しました。

窓口担当職員は複数回に渡り研修を受講し、お客さまとのコミュニケーションを重視したロールプレイングを繰り返し行うことにより、ホスピタリティや雑談力、ニーズ把握について実践的に学びました。

これからも、地域の皆さまから選ばれ続ける存在となるため、お客さまに喜んでいただけるサービスを提供してまいります。



## ● 第15回 岡山県しんきん合同ビジネス交流会を開催(9月11日)

9月11日(水)、岡山県下8信用金庫合同で、「第15回 岡山県しんきん合同ビジネス交流会」を開催しました。当金庫のお取引先企業が19社参加し、自社商品のPRや個別商談会・フリー商談会(ビジネスマッチング)を行いました。



# 最近の出来事

## 「備前焼まつり」チャリティバザー

10月19日(土)、「第37回備前焼まつり」に参加し、チャリティバザーを開催しました。バザー開始時間前より、大勢の地域の皆さまにお集まりいただき、お買い物を楽しんでいただきました。チャリティバザーの売上金は備前市社会福祉協議会へ寄付し、寄付金は社会福祉事業に役立てられる予定です。これからも、地域行事への参加や地域事業への取組みを積極的に行ってまいります。



## 備前信用金庫ロールプレイング大会

10月21日(月)、渉外・融資担当者による「後継者が決まっていない企業に対する課題解決(事業承継)」をテーマとした備前信用金庫のロールプレイング大会を開催しました。

地域の皆さまの身近な相談役として、適切な助言・提案等を行うことにより後継者不在である地元企業や事業者の事業承継をスムーズに進めることができるよう、金庫全体で職員の能力向上に努めてまいります。



## 日帰り年金旅行

10月26日(土)、第3回日帰り年金旅行として「神楽の貸切鑑賞を堪能する旅」を開催し、地域の多くの皆さまにご参加いただきました。旅行では、広島県世羅町の美しい景色を眺めながら地元の食材をたっぷり使った料理を味わっていただきました。また、戦国武将毛利元就の故郷である安芸高田市では、独自に発展した伝統芸能「ひろしま安芸高田神楽」をお楽しみいただきました。来年度も地域の皆さまに喜んでいただける年金旅行の企画をまいります。



# 合併のご案内

2020年2月10日(月)、備前信用金庫と日生信用金庫はひとつとなり「備前日生信用金庫」としてスタートします。

お客さまに信頼され、真に地域に必要とされる金融機関となるため、役職員一丸となってお客さまの利便性の向上や地域社会の発展に尽力して参ります。



手を取りあって未来へ  
備前日生信用金庫

(注) 本合併は関係当局の認可を前提としております。

## 店舗名称の変更について

2020年(令和2年)2月10日(月)より、以下の店舗については店舗名が変更となります。詳しい情報は当金庫ホームページ「合併に関するご案内(Q&A)」に掲載しておりますので、併せてご覧ください。

備前信用金庫		日生信用金庫	
片上支店 ▶ 片上中央支店	日生信用金庫本店営業部 ▶ 日生営業部	長船支店 ▶ 長船中央支店	
山陽支店 ▶ 桜が丘支店	伊里支店 ▶ 伊里中央支店	邑久支店 ▶ 邑久中央支店	
上道支店 ▶ 上道駅前支店	和気支店 ▶ 和気中央支店	山陽支店 ▶ 赤磐支店	

## 重要なお知らせ

合併に伴うシステム統合作業のため、令和2年2月8日(土)から令和2年2月9日(日)の2日間は、両金庫すべてのATMを休止させていただきます。

また、令和2年2月9日(日)につきましては、提携している他の金融機関ATMやコンビニATMなどにおいても、キャッシュカード・ローンカードによる取引およびデビットカードサービスを終日ご利用いただくことができませんのでご注意ください。ご不便をおかけしますが、事前にご準備をお願いいたします。

【ATMでのオンラインサービス休止期間】

令和2年2月	7日(金) 通常どおり	8日(土)	9日(日)	10日(月) 通常どおり
備前信用金庫ATM	○	×	×	○
日生信用金庫ATM	○	×	×	○
提携金融機関ATM	○	○	×	○
コンビニATM	○	○	×	○

【サービスを休止させていただくオンラインサービス】

- インターネットバンキングサービス
- テレホンサービス
- ファームバンキングサービス
- でんさいネット\*
- ホームバンキングサービス
- マルチペイメントネットワークサービス

\*令和2年2月10日(月)の午前9時頃までご利用いただくことができません。

## ご注意ください

合併に関して、当金庫職員がお客さま宅を訪問し、通帳やキャッシュカードをお預かりしたり、暗証番号をお尋ねしたりすることはございません。当金庫職員をかたる詐欺には十分にご注意ください。

## 合併に関するお問い合わせ

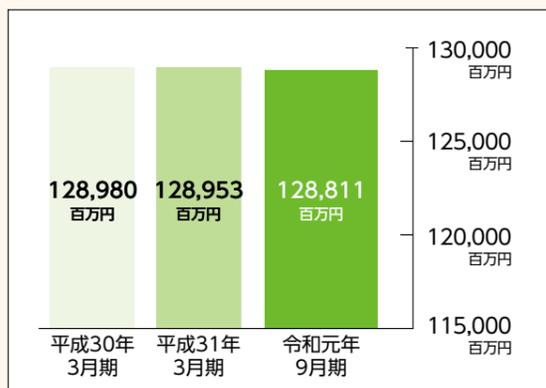
備前信用金庫 お客様相談室  
TEL 0869-64-4195  
(受付時間:平日9:00~17:00 休業日を除きます。)

# 仮決算の概況

## 預金積金

128,811 百万円

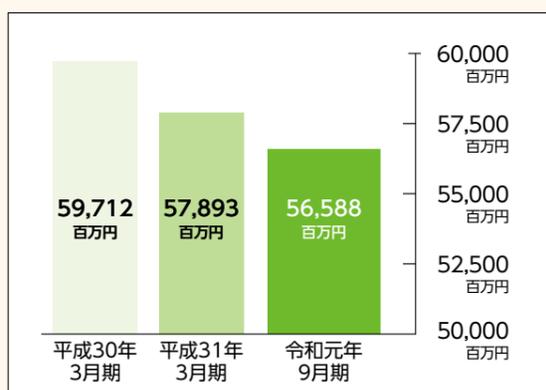
預金は、個人層を中心に給与振込、年金振込の推進や子育て応援貯蓄預金「きぼう」などの販売による基盤拡充を図りましたが、低金利の長期化もあり、前期末比142百万円減少の128,811百万円となりました。



## 貸出金

56,588 百万円

貸出金は、金庫ブランド商品等の推進を通じて事業資金、消費資金の増強に取り組んだものの、長引く資金需要の低迷により、前期末比1,305百万円減少の56,588百万円となりました。



## 業種別の貸出金残高



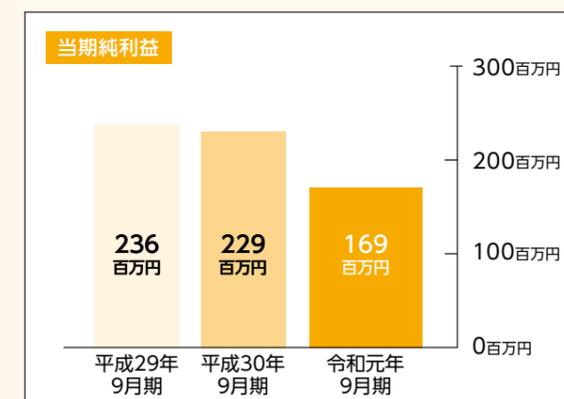
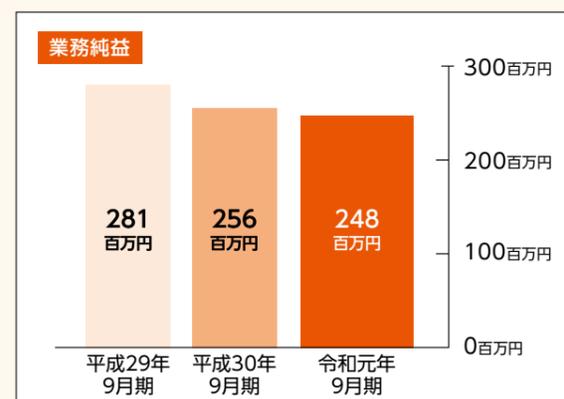
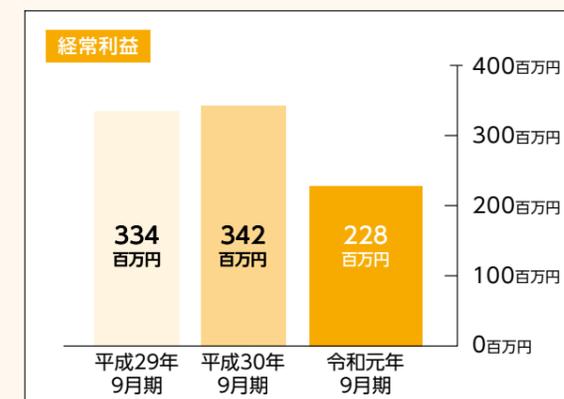
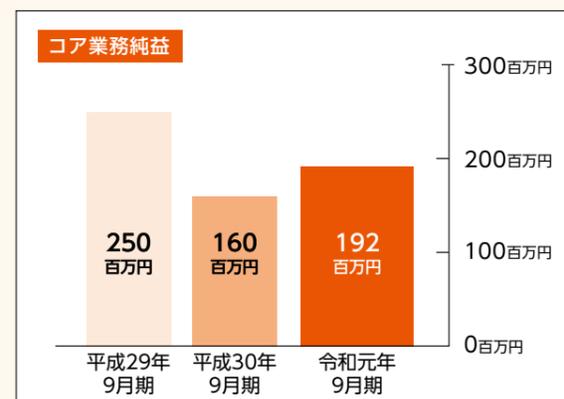
- ① 製造業 (8.25%)
- ② 建設業 (9.43%)
- ③ 運輸業・郵便業 (4.25%)
- ④ 卸売業・小売業 (5.32%)
- ⑤ 金融業・保険業 (38.96%)
- ⑥ 不動産業 (4.91%)
- ⑦ その他 (4.59%)
- ⑧ 地方公共団体 (9.57%)
- ⑨ 個人 (14.67%)

(注) 1. 「その他」には、農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、その他のサービス業が含まれております。  
2. 業種別の貸出金残高は単位未満を切り捨てて表示しているため、業種別割合の合計は100%にはなりません。

## 損益の状況

コア業務純益 192 百万円  
経常利益 228 百万円  
業務純益 248 百万円  
当期純利益 169 百万円

効率的な有価証券運用によりコア業務純益は前年同月比32百万円増加の192百万円となりましたが、リスク軽減のため国債等債券売却・償還損を計上したことや貸倒引当金繰入金が発生したことなどから、当期純利益は前年同月比59百万円減少の169百万円となりました。



## 金利リスク (IRRBB) に関する事項

		(単位:百万円)	
		平成31年3月期	令和元年9月期
ΔEVE	上方パラレルシフト	6,446	4,952

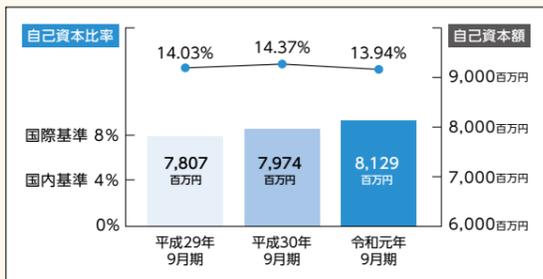
(注) 1. ΔEVEとは銀行動定の金利リスクのうち、金利ショックに対する経済的価値の減少額のことです。  
2. 上方パラレルシフトとは、各年数の金利が同じ方向に同じ程度だけ上昇するシナリオのことです。

# 仮決算の概況



## 自己資本の状況

自己資本比率 **13.94%**



## 自己資本の構成に関する項目

(単位:百万円)

	平成31年3月期	令和元年9月期
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	7,972	8,138
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	8	8
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ) ※1	7,963	8,129
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) ※2	57,663	58,278
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	13.80%	13.94%

自己資本比率

$$\frac{\text{自己資本の額} ※ 1}{\text{リスク・アセット等の額の合計額} ※ 2} \times 100 = 13.94\%$$

## 自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	平成31年3月期		令和元年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	54,121	2,164	54,736	2,189
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	47,901	1,916	48,805	1,952
外国の中央政府及び中央銀行向け	221	8	141	5
国際開発銀行向け	79	3	79	3
我が国の政府関係機関向け	241	9	190	7
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	13,478	539	15,176	607
法人等向け	18,494	739	18,336	733
中小企業等向け及び個人向け	6,152	246	5,780	231
不動産取得等事業向け	1,180	47	1,510	60
3ヵ月以上延滞等	135	5	127	5
取立未済手形	4	0	7	0
信用保証協会等による保証付	316	12	303	12
出資等	4,254	170	4,185	167
出資等のエクスポージャー	4,254	170	4,185	167
上記以外	3,341	133	2,967	118
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	250	10	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	598	23	598	23
上記以外のエクスポージャー	2,492	99	2,369	94
②証券化エクスポージャー	314	12	636	25
証券化 非STC要件適用分	314	12	636	25
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	5,696	227	5,002	200
ルック・スルー方式	5,696	227	5,002	200
④CVAリスク相当額を8%で除して得た額	103	4	90	3
⑤中央清算機関関連エクスポージャー	2	0	0	0
⑥その他	103	4	201	8
ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	3,541	141	3,541	141
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	57,663	2,306	58,278	2,331

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%  
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。  
 3. 「3ヵ月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
 4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しています。  

$$\text{＜オペレーショナル・リスク相当額(基礎的手法)の算定方法＞} = \frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$
  
 5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

## 有価証券の時価情報

満期保有目的の債券は140百万円の評価損となりましたが、その他有価証券は1,807百万円の評価益となり、全体で1,667百万円の評価益となりました、引き続きリスクを考慮し、効率的な運用を心掛けてまいります。

### 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	平成31年3月期			令和元年9月期		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
合計	5,800	5,616	▲183	5,100	4,959	▲140

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含まれておりません。

### その他有価証券

(単位:百万円)

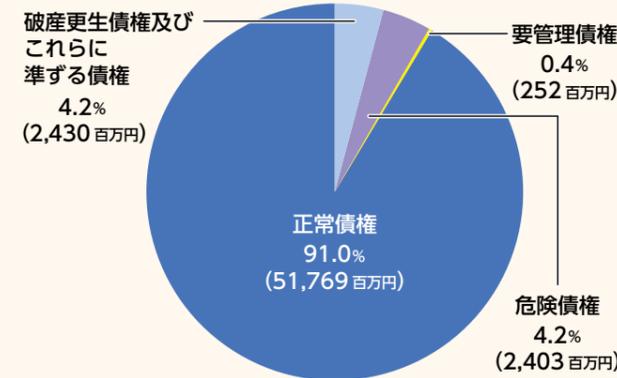
種類	平成31年3月期			令和元年9月期		
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
株式	126	144	▲18	97	99	▲2
債券	24,833	23,940	892	23,093	22,049	1,044
その他	30,081	29,757	323	29,615	28,850	765
合計	55,041	53,843	1,198	52,806	50,999	1,807

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含まれておりません。

## 不良債権の状況

不良債権額 **5,085百万円**  
 前期末比▲145百万円 2.77% 減少

不良債権比率 **8.94%**  
 前期末比0.04% 減少



総与信(注)に占める不良債権の額・指標です。

(注) 総与信とは、金融再生法に基づく不良債権(5,085百万円)と正常債権(51,769百万円)の合計額(56,855百万円)のことを言います。

厳格な自己査定を実施することで資産の健全性確保に努めております。

**ご安心ください**

金融再生法に基づく不良債権の総額は50億85百万円となっておりますが、**保全額は47億39百万円**で、**保全率は93%**となっております。また、**81億円を超える自己資本**がありますので、備えは万全です。

